

# 2016年6月期 第2四半期 決算説明会資料

---

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
2016年2月19日



1. 会社概要
2. 第2四半期決算概要
3. 2016年6月期 見通し
4. 参考データ

---

# 1. 会社概要

# 会社概要



2015年12月31日現在

本 社	静岡県富士宮市山宮3507番地の19
代 表 者	代表取締役社長 佐野富和
設 立	2010年5月
グ ル ー プ 会 社	連結子会社12社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社
従 業 員 数	単体23名(連結348名)

子 会 社	(株)エコネコル	静岡県 富士宮市	金属・プラスチックリサイクル及びリサイクル資源の輸出販売事業
	(株)3WM	愛知県 名古屋市	中古車・中古車部品等の輸出及び三国間貿易、物流代行業業 子会社 海外現地法人3社
	(株)クロダリサイクル	北海道 函館市	金属・プラスチック、家電等のリサイクル事業
	(株)しんえこ	長野県 松本市	金属・プラスチック、小型家電等のリサイクル事業 子会社 障がい福祉サービス事業1社(株)エコミット)
	(株)E3	東京都 港区	再生可能エネルギー発電事業及び新規事業
	(株)東洋ゴムチップ	群馬県 前橋市	ゴムリサイクル及びゴム製品製造・販売
関 連 会 社	(株)アビツ	愛知県 名古屋市	【持分割合49%】金属・プラスチックリサイクル及び自動車リサイクル事業
	(株)富士エコサイクル	静岡県 浜松市	【持分割合20%】家電リサイクル事業

# 拠点



## 【流通拠点】

- ★ 鉄スクラップヤード(9箇所)
- ★ 非鉄倉庫(3箇所)
- ★ 自動車ヤード(2箇所)



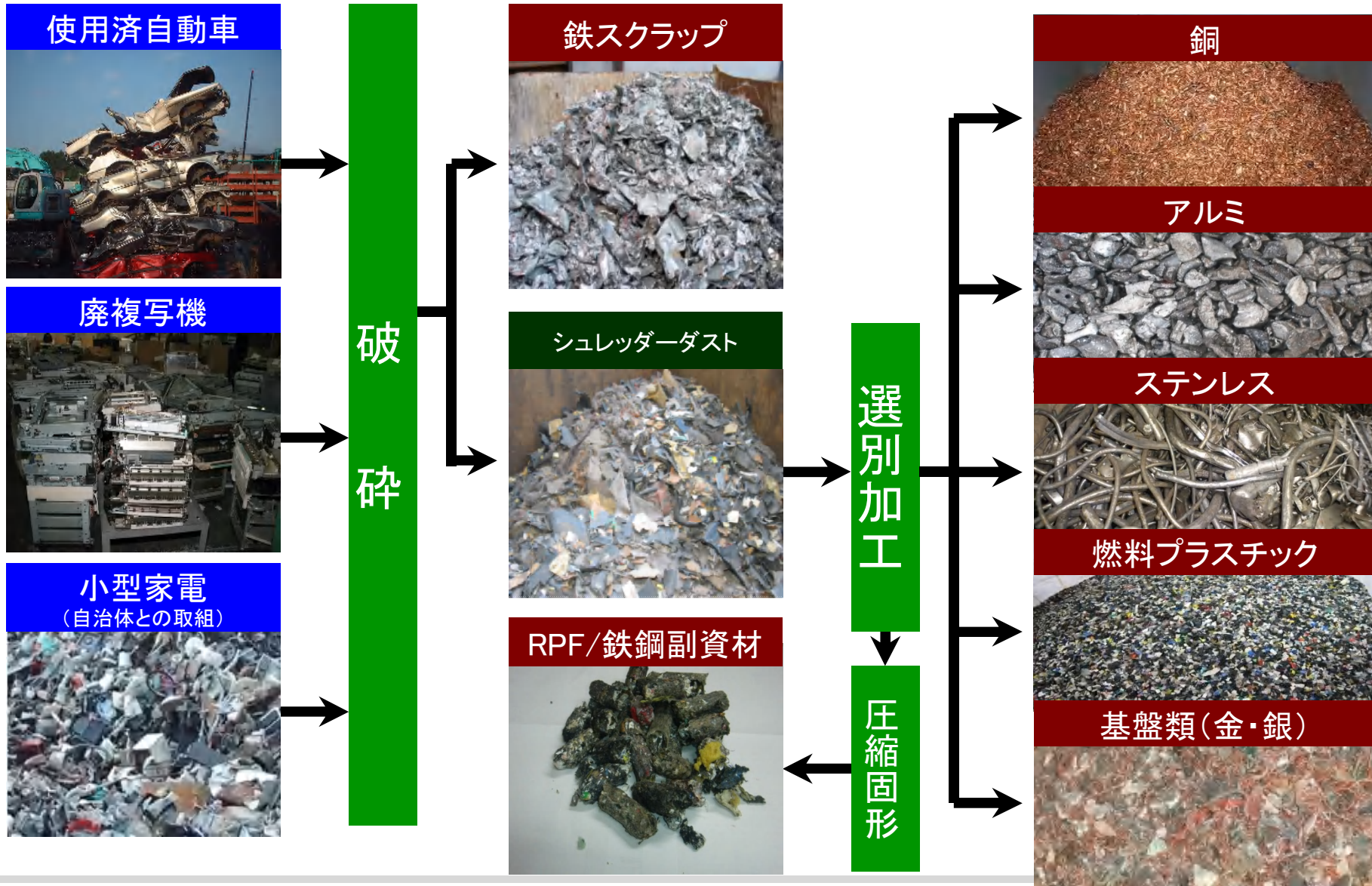
## 【加工拠点】(8箇所)

函館、松本、富士宮、清水、  
浜松(2箇所)、名古屋、群馬

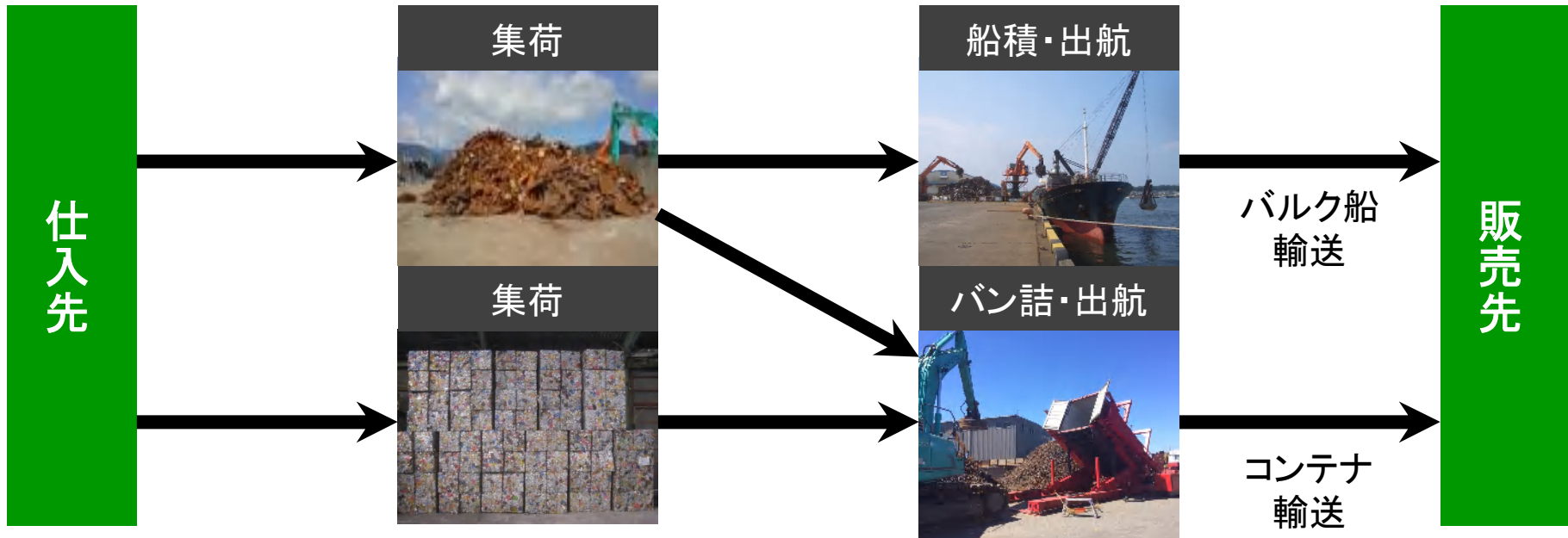
## 【海外拠点】

- 1 UAE現地法人(株3WM海外子会社)
- 2 チリ現地法人(株3WM海外子会社)
- 3 ウガンダ現地法人(株3WM海外子会社)
- 4 ホーチミン駐在事務所(株エコネコル海外事務所)









## 扱い商品例





【長野 小宮0.6MW】  
2015年7月稼働



【福岡 桂川4.0MW】  
2015年9月売却

- 太陽光発電所の開発推進(自社での直接開発、匿名組合出資等を組み合わせながら実施)
- 開発発電容量は、前期7.2MW、当期17.2MW 合計24.4MW  
(開発中のもの含む)

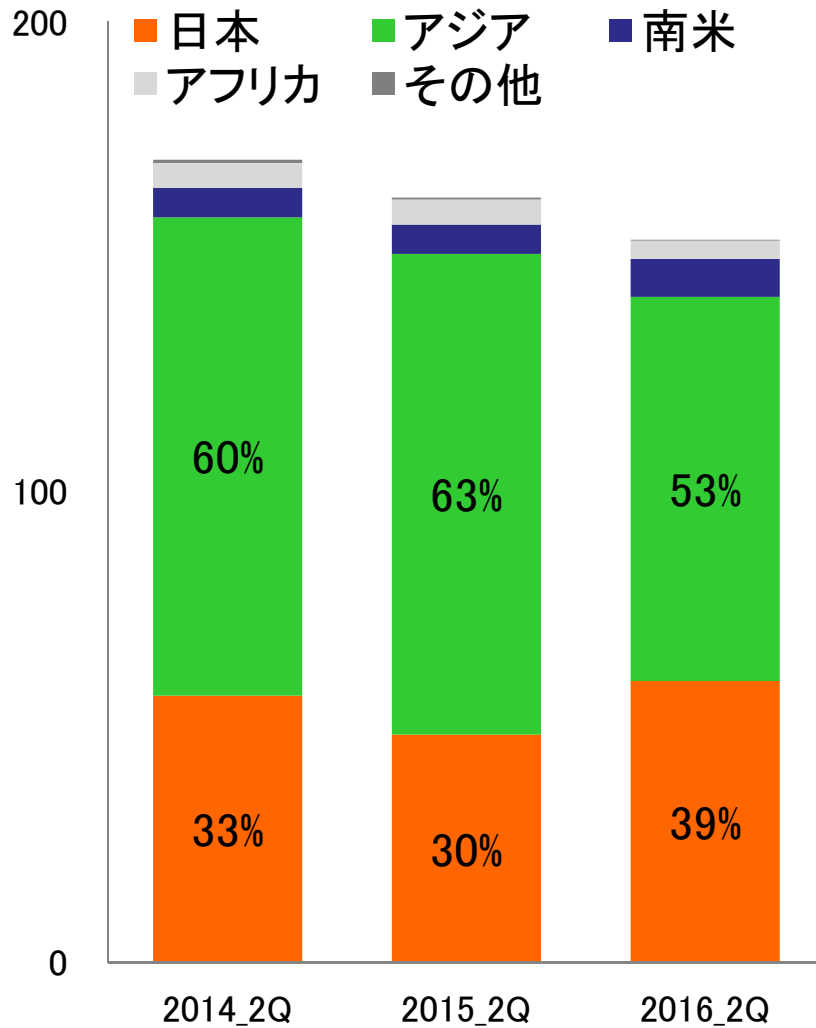


# 地域別売上高・品目別売上高



(億円)

## 地域別売上高



(億円)

## 品目別売上高



---

## 2. 第2四半期決算概要

# 第2四半期 ハイライト



## 業績

売上高	15,369百万円	(前年同期比 5.5%減)
営業利益	418百万円	(前年同期比55.3%増)
経常利益	482百万円	(前年同期比 9.9%増)
四半期純利益	358百万円	(前年同期比32.1%増)

## 主要TOPICS

- 鉄スクラップ、非鉄金属等の資源価格が下落し売上減少
- 工場での事業及び持分法適用会社は、資源価格下落により利鞘及び入荷量が減少し収益縮小
- ASR再資源化工場稼働
- 鉄スクラップの貿易取引、中古車・部品等の取引は堅調推移
- 太陽光発電所の開発収益及び売電収益計上(売上・利益共に貢献)
- 固定費は、ベースアップ、賞与増額により人件費が増加したものの減価償却費、燃料費の減少等全般的に抑制
- 東洋ゴムチップグループ化

# 第2四半期 連結損益計算書概要



(百万円)

	2015年6月期(上期)		2016年6月期(上期)			
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額	増減率(%)
売上高	16,265	100.0%	15,369	100.0%	▲ 896	▲ 5.5%
売上総利益	2,979	18.3%	2,678	17.4%	▲ 300	▲ 10.1%
営業利益	269	1.7%	418	2.7%	149	55.3%
経常利益	439	2.7%	482	3.1%	43	9.9%
税金等調整前 四半期純利益	419	2.6%	548	3.6%	128	30.6%
四半期純利益※	271	1.7%	358	2.3%	87	32.1%
EBITDA	618	3.8%	717	4.7%	99	16.1%
限界利益	2,443	15.0%	2,494	16.2%	51	2.1%
純粹固定費※	2,098	12.9%	2,041	13.3%	▲ 57	▲ 2.7%

※四半期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却

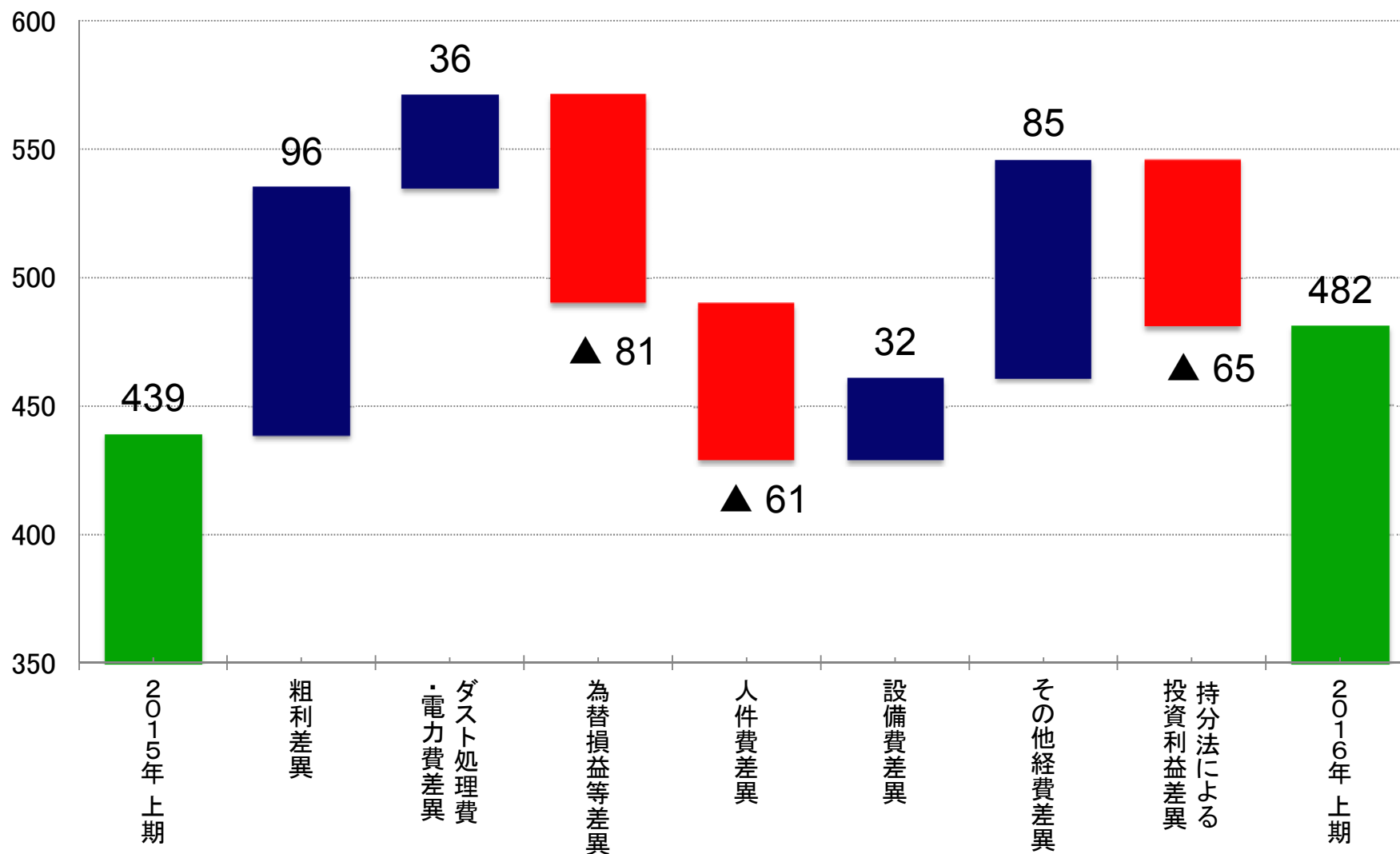
※純粹固定費＝【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】－【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】



# 経常利益差異分析



(百万円)



# 連結貸借対照表概要



(百万円)

	2015年 6月末	2015年 12月末	増減額		2015年 6月末	2015年 12月末	増減額
流動資産	6,888	7,325	436	流動負債	5,398	4,682	▲ 716
固定資産	7,575	8,036	461	固定負債	1,137	2,625	1,487
（有形固定資産）	4,627	5,358	730	負債合計	6,536	7,307	771
（無形固定資産）	329	222	▲ 106	純資産	7,928	8,054	125
（投資その他の資産）	2,618	2,456	▲ 162	（株主資本）	7,626	7,742	115
資産合計	14,464	15,361	897	負債純資産合計	14,464	15,361	897

## 主要TOPICS

- クロダリサイクルにてASR(自動車破碎残さ)再資源化設備稼働
- 東洋ゴムチップ買収資金長期借入、太陽光発電開発用短期借入金の返済等

# 連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

項目	2015年6月期 (上期)	2016年6月期 (上期)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	642	2,017	1,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,208	▲1,092	▲1,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,104	296	▲1,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	2	▲25
現金及び現金同等物の増減額	565	1,223	658
現金及び現金同等物の期首残高	1,246	1,441	195
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,811	2,665	853

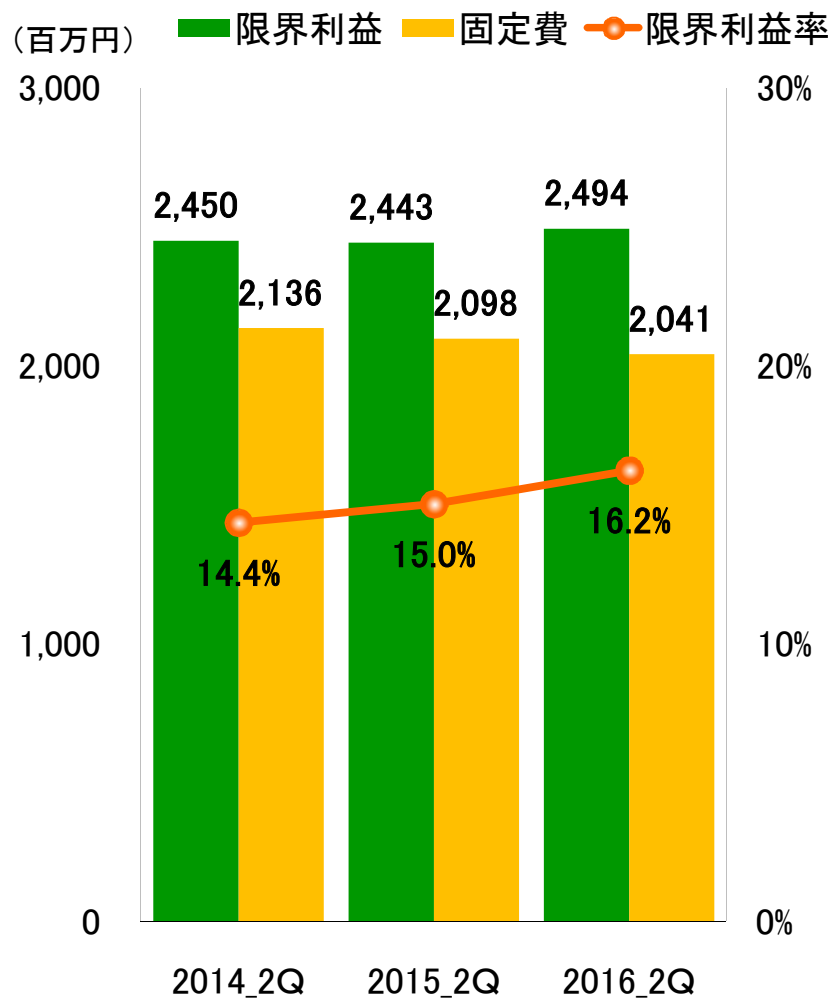
## 主要TOPICS

- 税金等調整前四半期純利益、減価償却費計上、資源価格下落に伴う売上債権、在庫の圧縮
- ASR再資源化設備購入、匿名組合出資実行と出資金の回収等
- 東洋ゴムチップ買収資金長期借入、太陽光発電開発用短期借入金の返済等

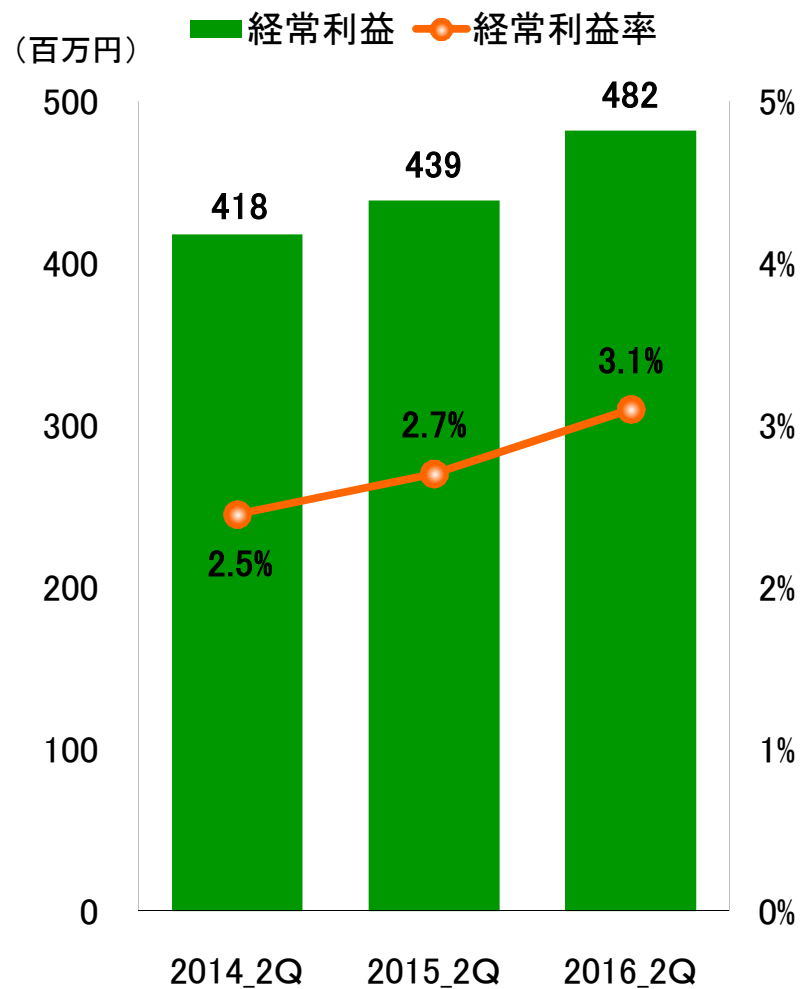
# 限界利益・經常利益推移



## 限界利益と固定費 ※限界利益=売上-変動費



## 經常利益





---

### 3. 2016年6月期 見通し

# 2016年6月期業績見通し(連結)



(百万円)

	2015年6月期			2016年6月期				
	上期 (実績)	下期 (実績)	通期	上期 (実績)	下期 (計画)	通期	増減額	増減率 (%)
売上高	16,265	16,272	32,538	15,369	19,483	34,852	2,314	7.1%
売上総利益	2,979	2,803	5,783	2,678	4,083	6,761	978	16.9%
営業利益	269	474	744	418	417	835	91	12.2%
経常利益	439	561	1,001	482	525	1,007	6	0.6%
税金等調整前 四半期純利益	419	611	1,031	548	459	1,007	▲ 24	▲2.3%
四半期(当期)純利益※	271	414	685	358	307	665	▲ 20	▲2.9%
EBITDA	618	849	1,467	717	908	1,625	158	10.8%
限界利益	2,443	2,576	5,020	2,494	3,143	5,637	617	12.3%
純粹固定費	2,098	2,111	4,209	2,041	2,739	4,780	571	13.6%

※四半期(当期)純利益=親会社株主に帰属する四半期純利益

# 足元の事業環境と取り組み

## 事業環境

- 中国及び新興国経済の成長鈍化
- 米国の利上げと日本のマイナス金利導入
- 商品価格の下落

## 下期から来期にかけての取り組み

- 東洋ゴムチップとのグループシナジー創出
- 燃料・鉄鋼副資材製造事業の強化(ASR再資源化施設の収益寄与は来期以降)
- B to C 資源回収事業の強化(もったいないBOX、かたづけ隊)
- 鉄スクラップ等のコンテナ輸出強化
- バイオマス燃料等新商材開発
- 太陽光発電所の開発
- 新規事業育成
- コンサルティング会社設立(顧客接点の拡大等)

# ASR再資源化設備立ち上げ(株)クロダリサイクル 函館



## 概要

- ASRをフラフ状まで破碎選別し、廃プラスチック、木屑等と混錬した燃料を製造(セメント会社向け)
- セメント会社との連携によりASR再資源化率100%
- 2015年11月 ASR再資源化認定取得
- 2015年11月 稼働・性能確認、生産体制確立を実施



設備

## 狙い

- ASR再資源化収入獲得
- 廃プラスチック、木屑等の産業廃棄物等の受入拡大  
(金属相場に左右されない事業領域の拡充)  
償却負担が減少する来期以降収益貢献見込み



製品

※ASR: Automobile Shredder Residueの略称であり使用済み自動車からエアバッグ類やフロン類、ドア、エンジンなどの部品を取り外し、破碎(シュレツディング)して有用金属を回収した後に残りのダスト。自動車メーカー等から構成されるARTとTHチームがASR再資源化施設の選定を行い再資源化委託を実施する。



# 東洋ゴムチップグループ化(群馬)



## 概要

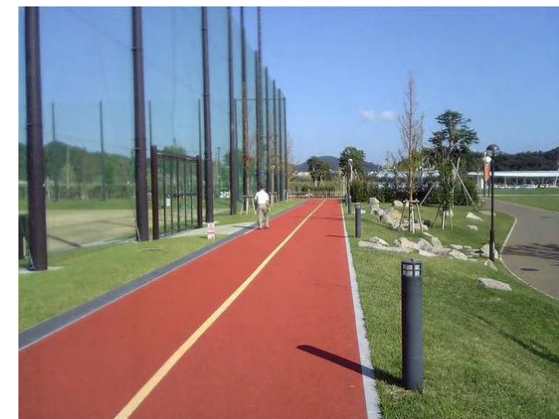
- ゴムリサイクル及びゴム製品製造販売実施
- ゴム製品(弾性舗装材)については、マーケット占有率が高い。
- 主な販売先は、舗装材施工会社  
(官公庁向けが多い)
- 売上1,383百万円 経常利益86百万円 ※



製品例  
(カラーゴムチップ)

## 狙い

- リサイクル事業の拡張  
非金属系のゴムリサイクルが加わる。
- グループシナジーの創出  
顧客基盤の相互活用、人工芝リサイクル等々  
(金属相場に左右されない事業領域の拡充)  
2016年1月から収益寄与

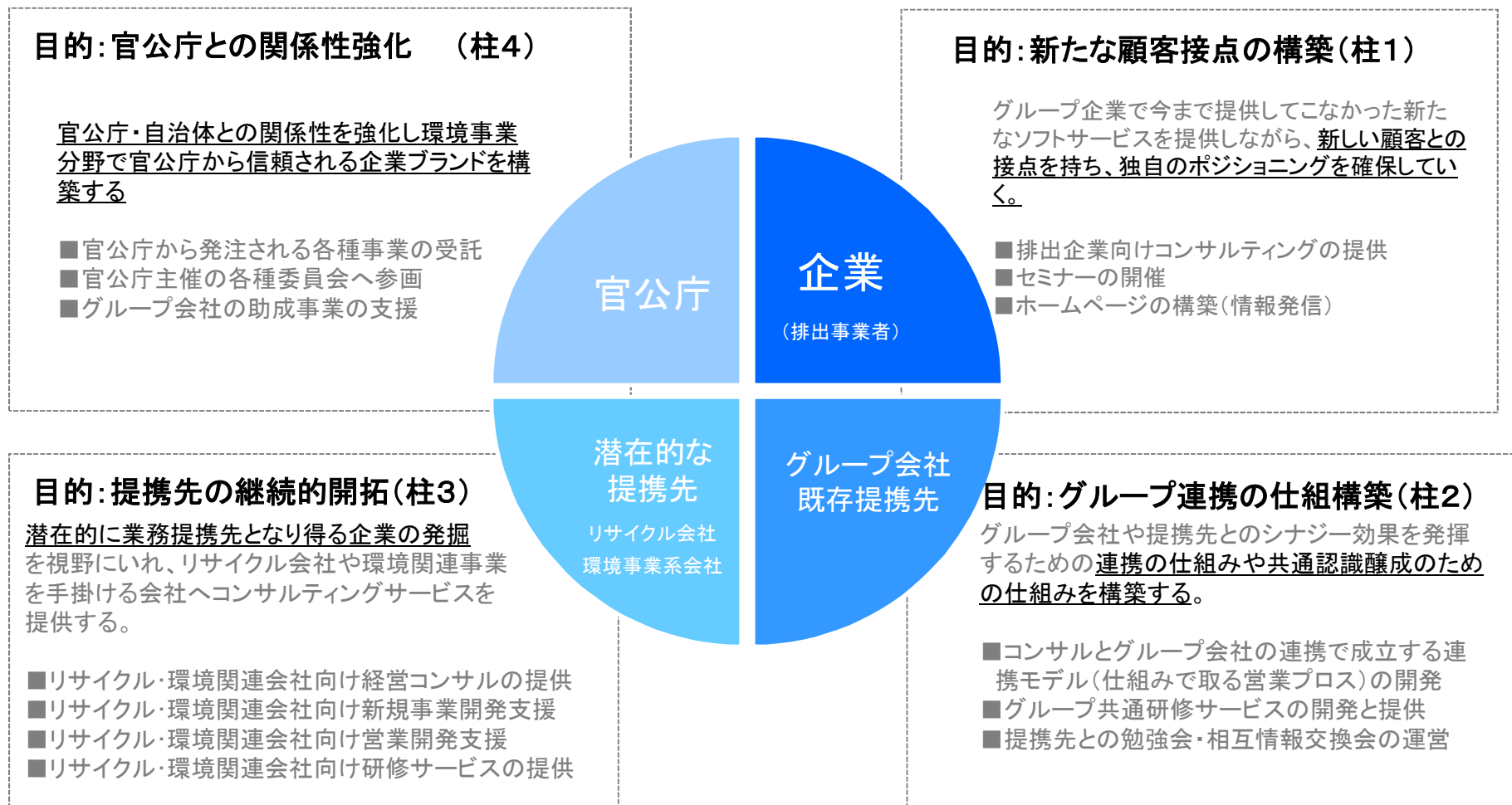


カラーゴムチップ施工例  
(ジョギングコース)

# コンサルティング会社設立（4つのターゲット）



会社設立背景の裏返しとしてのコンサルティング会社に求められる役割を理解し、以下4つのターゲット(円内)を軸に順次サービスを立ち上げ事業を確立していく。4つの柱を事業展開の柱とするが、これらに限定せず、常に新たな発想と創造的な考えで新しいサービスや仕組構築にチャレンジしていく。



# 創りかえる

## ■ 多様性の推進

- ・人、事業、会社の仕組みの多様性を推進する。

## ■ 全員経営への進化(トップダウン→自律分散型)

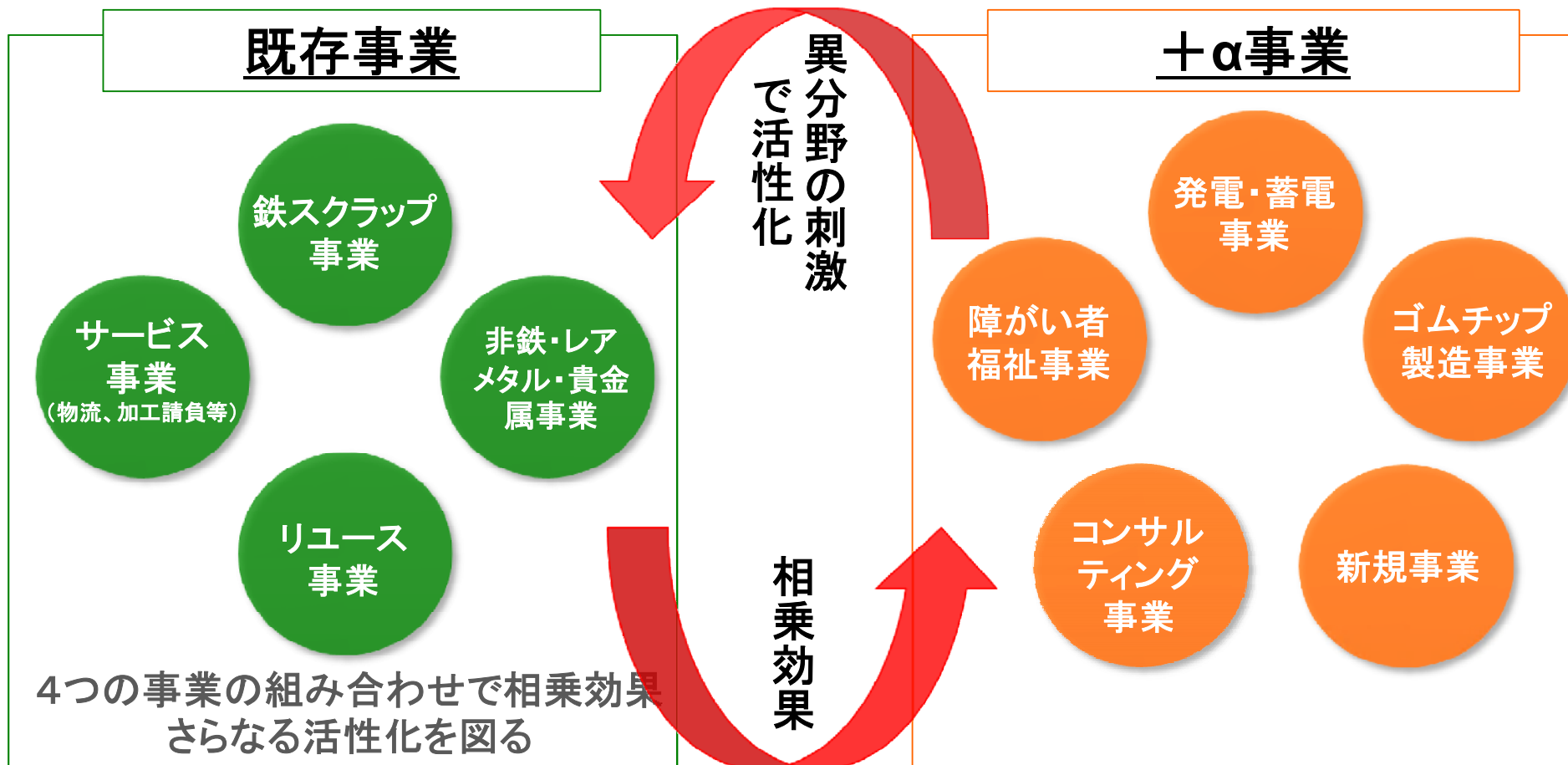
- ・エンビプロ・ビジネススクールを創設する。
- ・小さな単位で経営に関わる人、度合いを増やす。

## ■ 連携の強化

- ・社内外のコミュニケーションを活性化する。
- ・社内外との連携を強める。

# 1 多様性の推進(一律→多様)

人、事業、会社の仕組みの多様性を推進する



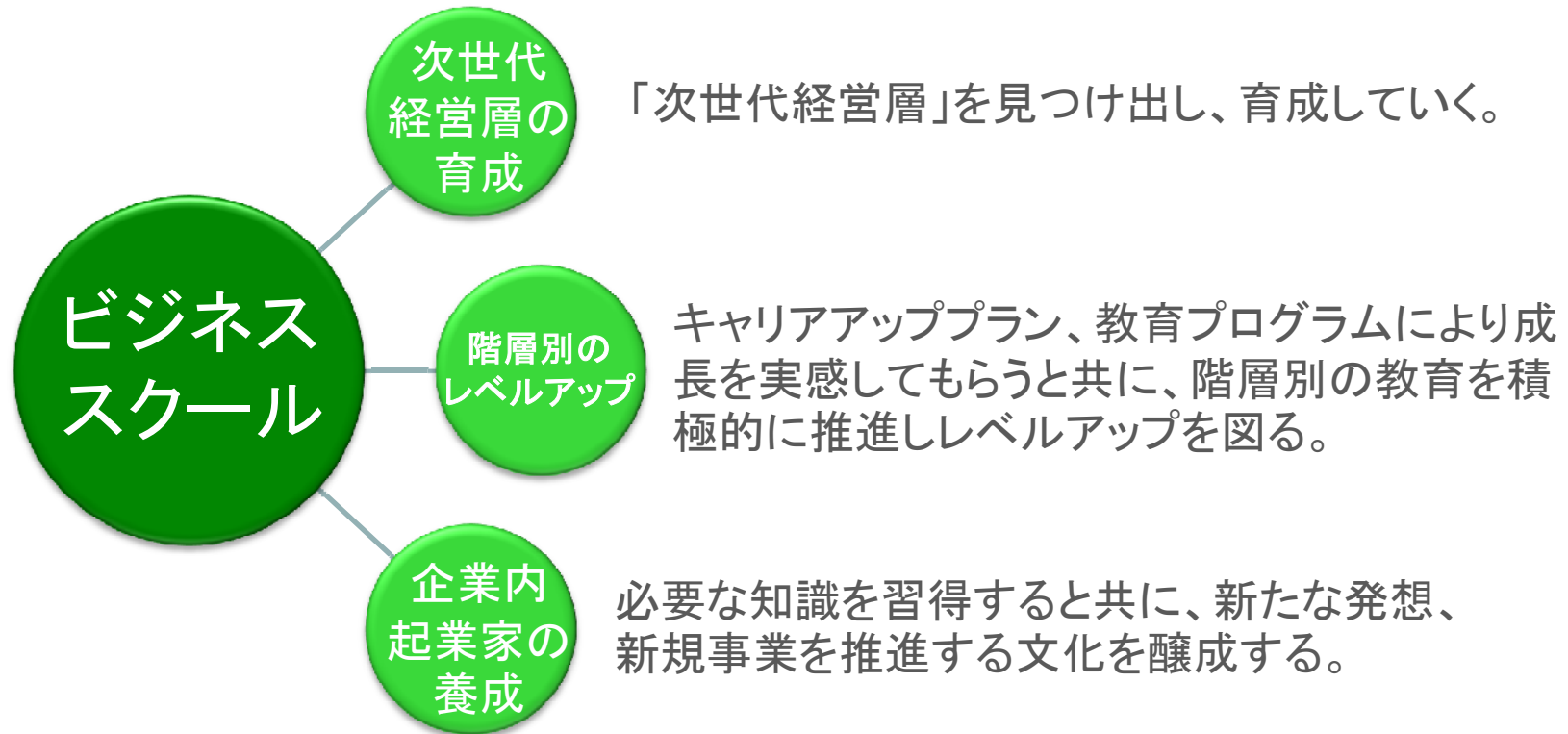
リサイクル機能を強みとした総合サービスプロバイダーへの転換



## 2 全員経営への進化(トップダウン→自律分散型)



人材マネジメント強化の施策としてビジネススクールを開設する



経営の最重要テーマ＝人材、人が競争力の源泉  
人と戦略を同期させ、  
個々の力と組織を強める

### 3 連携の強化



(部分最適⇒全体最適⇒部分最適)

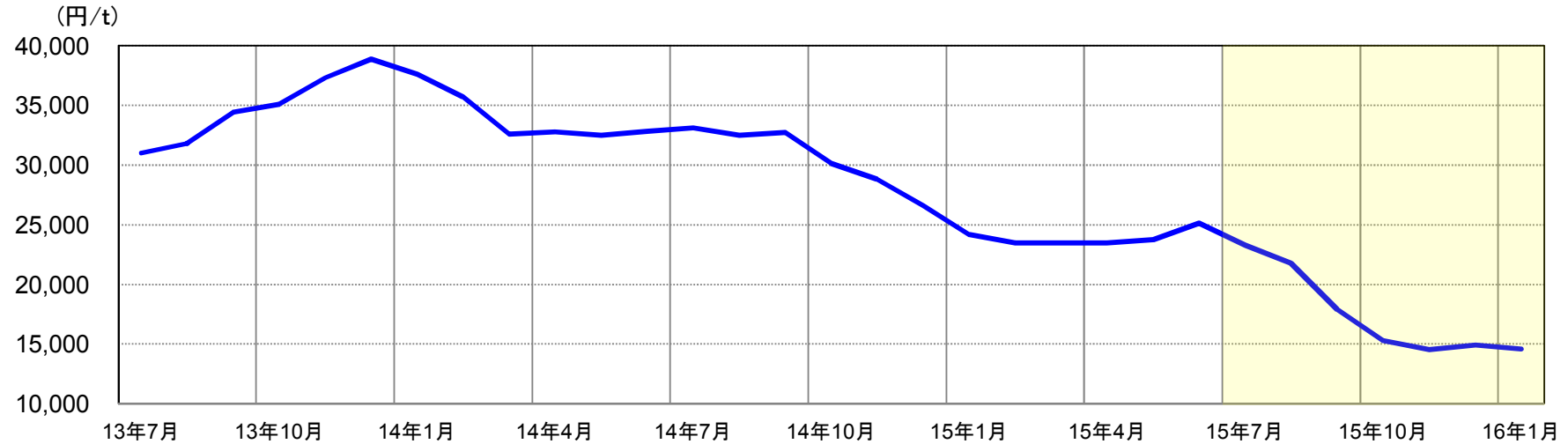
	社内	社外
コミュニケーション	従業員満足アンケート ビジネススクール 階層別勉強会、合宿	ホームページ改定 IRの充実
連携	経営戦略会議 (グループシナジー)	ビジネスパートナー 地域社会・国政との連携 (産業競争力強化法、 IoT推進コンソーシアム)

全体最適を優先した結果としての  
部分最適の成果向上

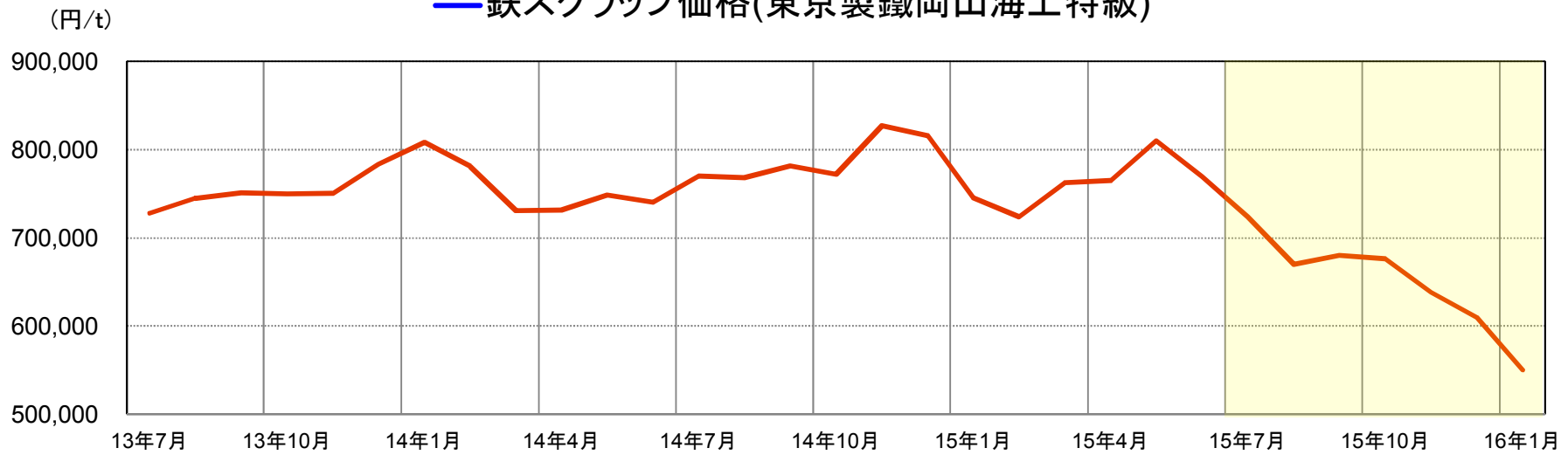
---

## 4. 参考データ

# 相場推移①

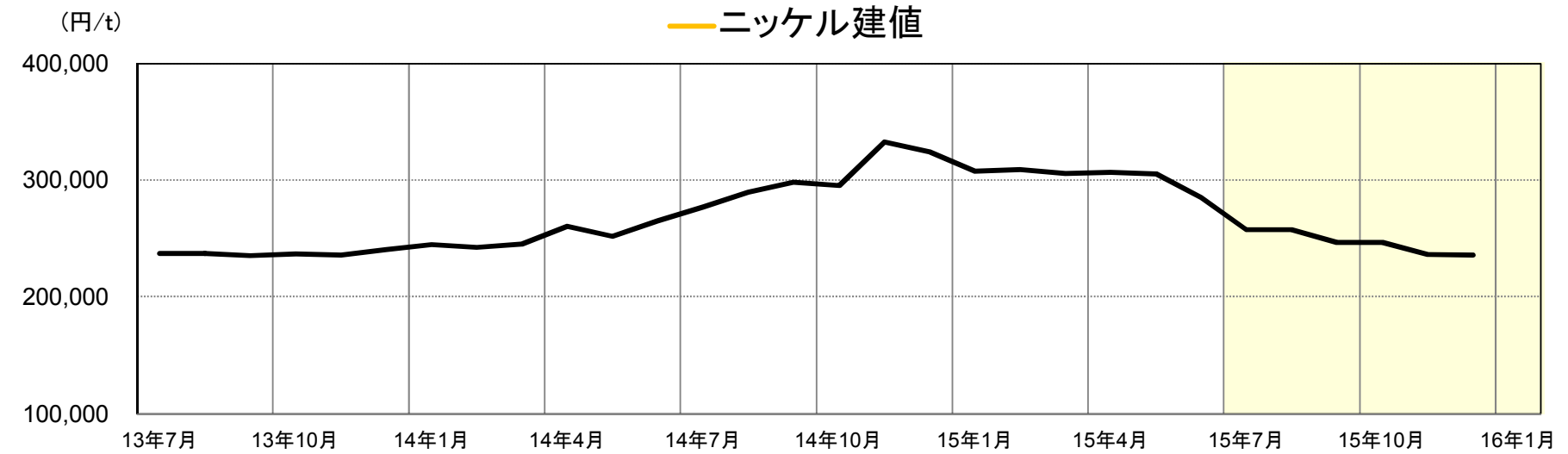
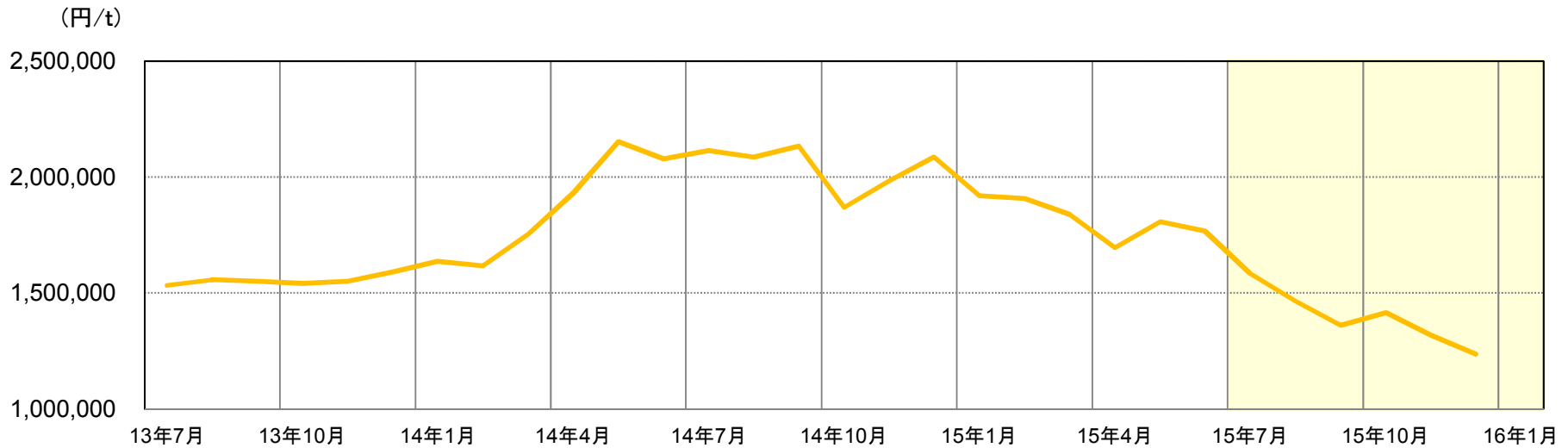


— 鉄スクラップ価格(東京製鐵岡山海上特級)



— 電気銅建値

# 相場推移②

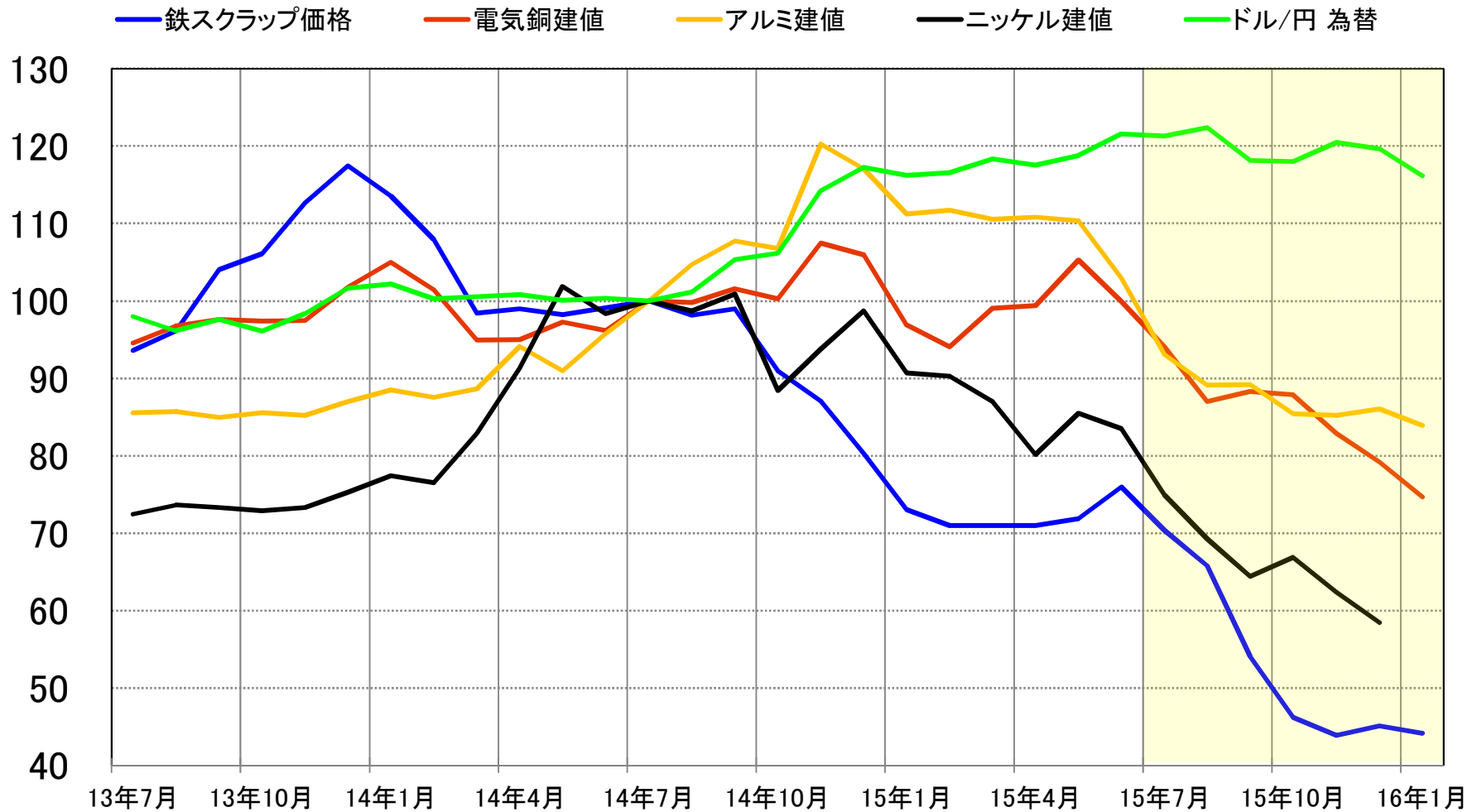


— アルミ建値

# 相場推移③



## 金属相場の推移 (INDEX推移 2014年7月を100とする)

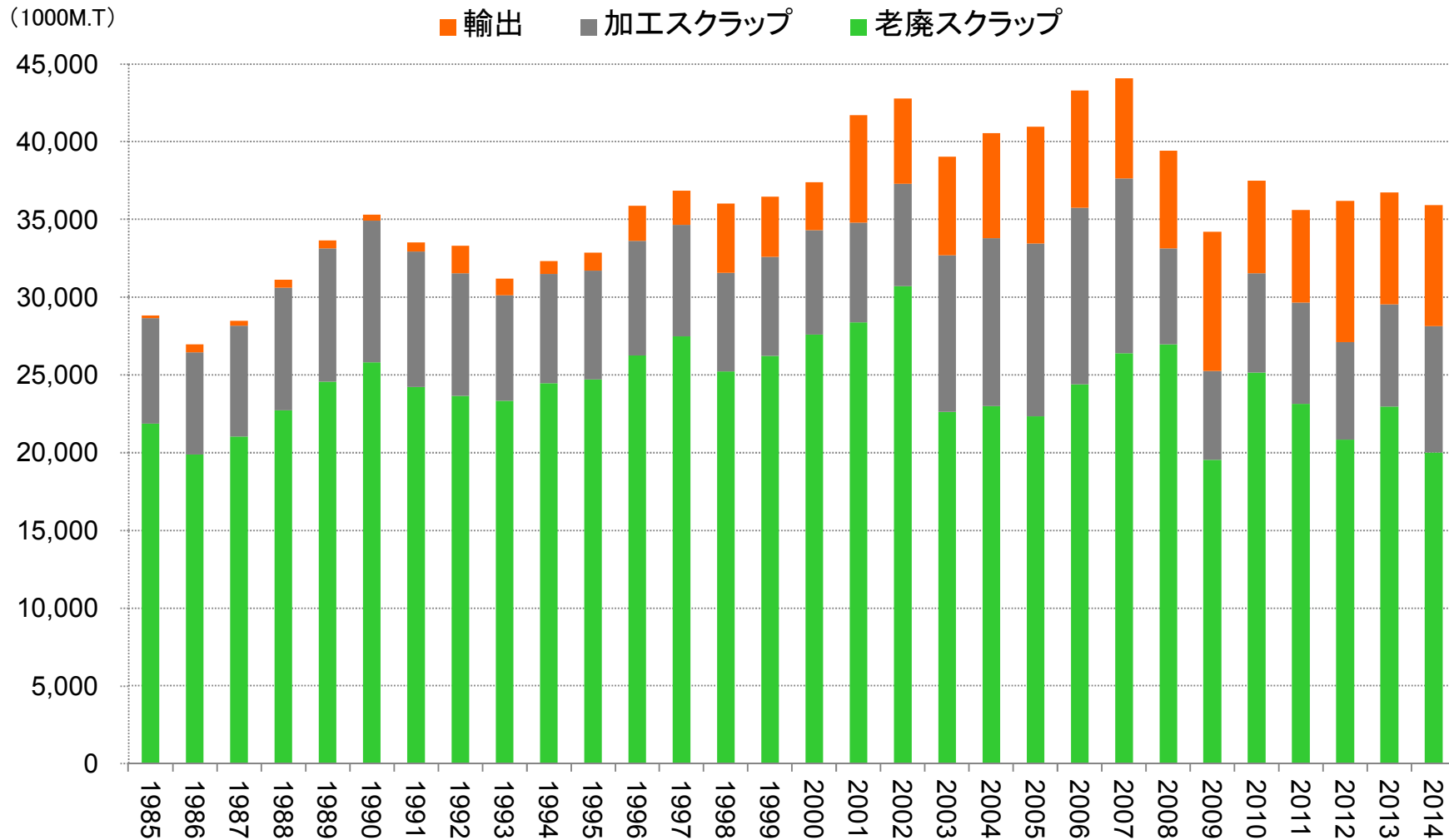




# 国内鉄スクラップのマーケット①



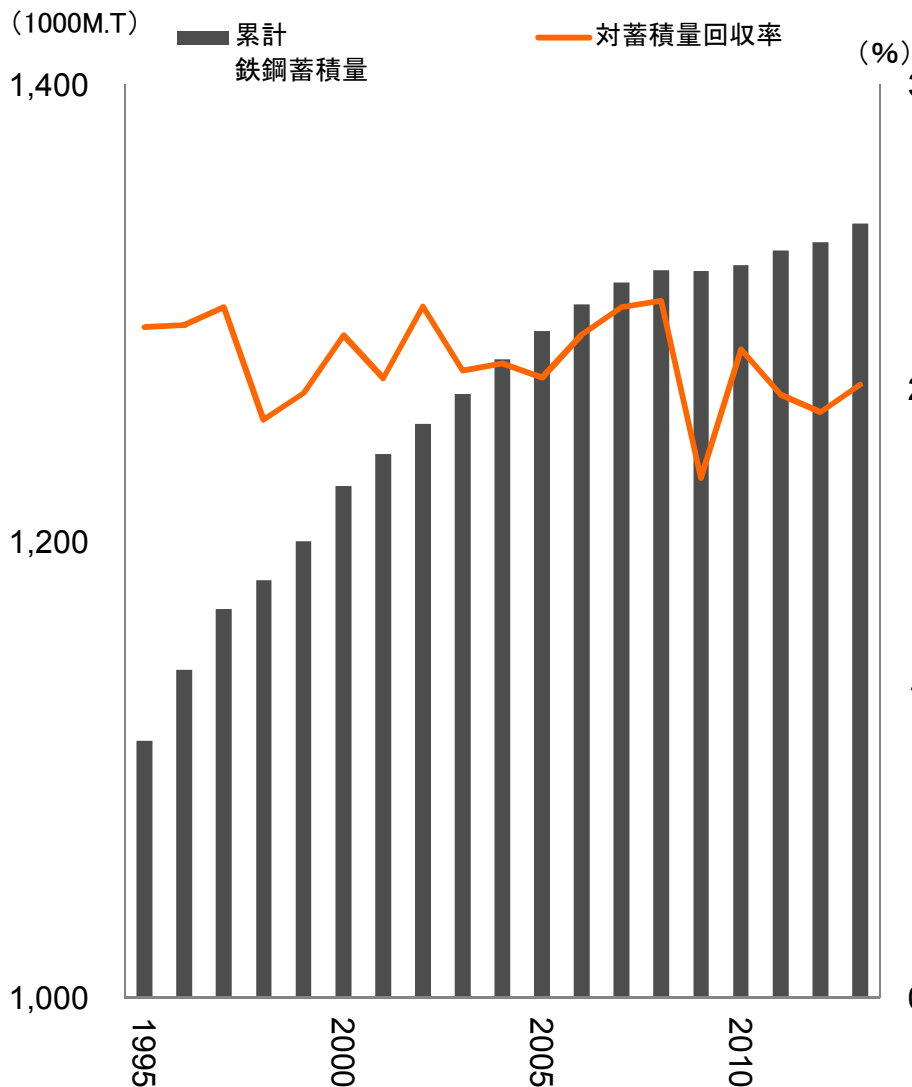
## 鉄スクラップ発生量推移



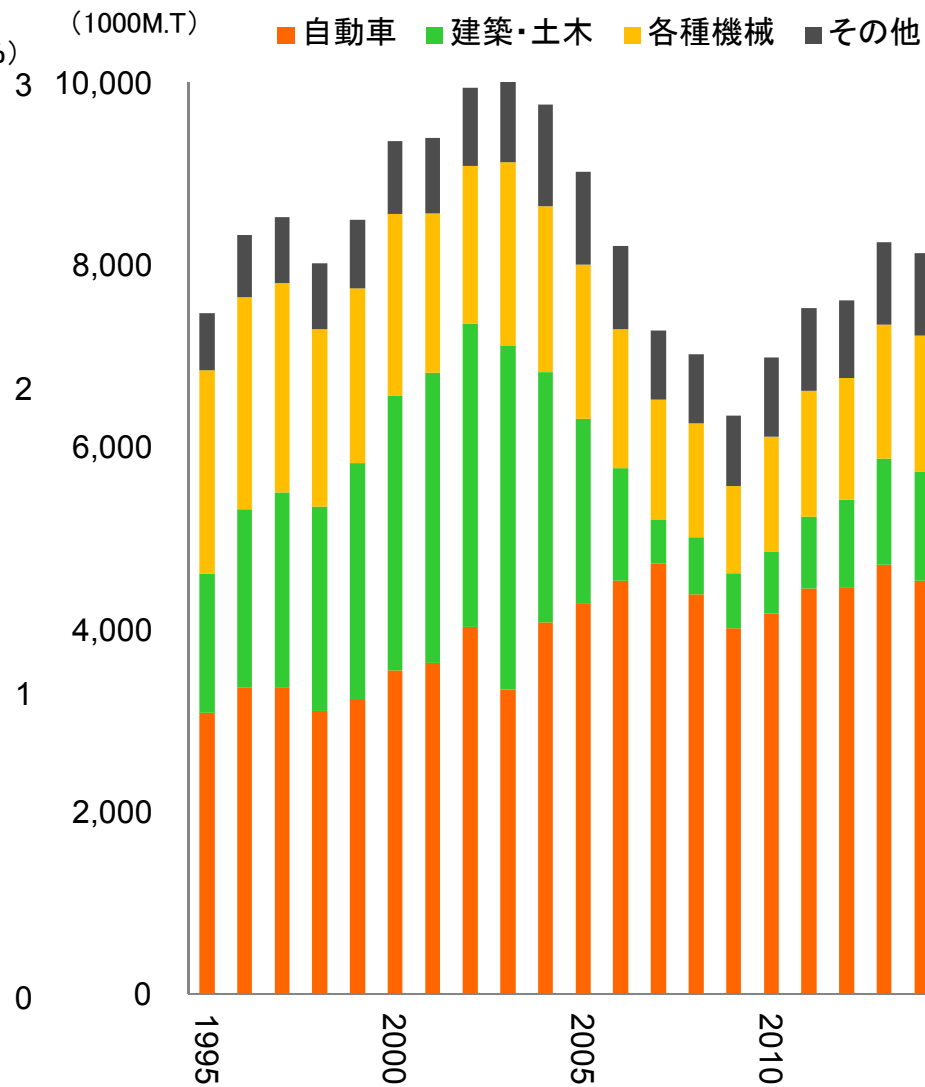
# 国内鉄スクラップのマーケット②



## 鉄鋼備蓄量と回収率推移



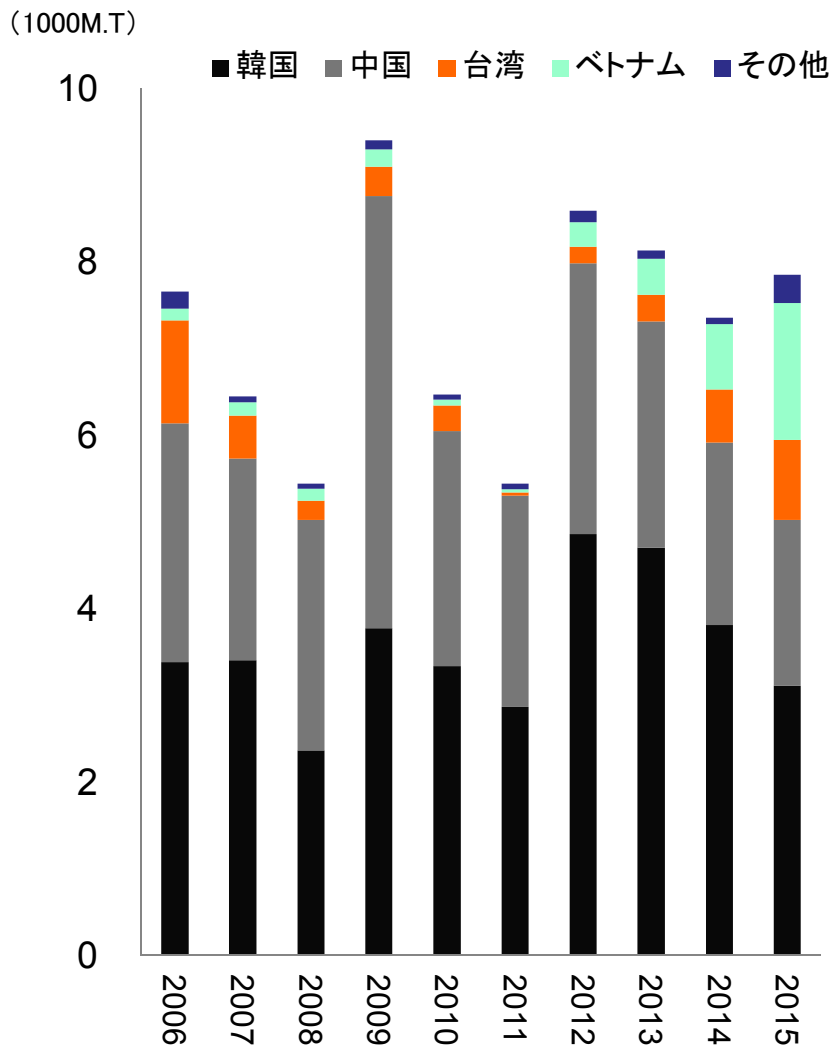
## 加工スクラップ発生量推移



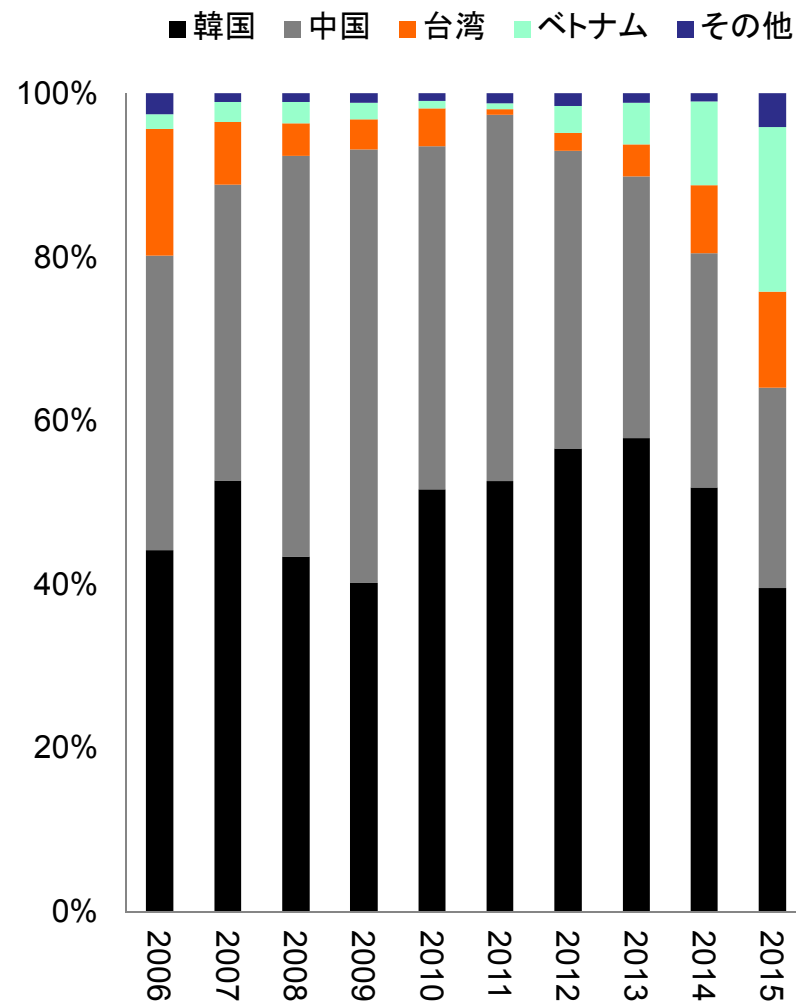
# 輸出鉄スクラップのマーケット



## 鉄スクラップ輸出量推移



## 鉄スクラップ輸出シェア推移



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 58-0521

URL <http://www.envipro.jp>